



KOBE KAISEI HOSPITAL

神戸海星病院ニュース

新年のご挨拶



病院長
立石 博臣



皆様方には新しい年を健やかに迎えになられた事とお喜び申し上げます。昨年は3月11日の東日本大震災、大津波そして原子力発電所からの放射線漏れによる放射能汚染が重なり、東日本の方々は大変な被害を被っておられます。それに伴って国内の政治、経済にも多大の影響が出ており医療界も厳しい状況になっております。2012年度の診療報酬改定では0.004%の増加となります。このような社会情勢ですので下がる事を予想しておりましたが、ごく微量ですがアップしましたので少し安堵感をおぼえております。

昨年10月、細やかですが140周年記念祝賀会を催しました。本年度から次の100年への第一歩を

踏み出そうとしております。本年は辰年ですので、それにあやかって神戸海星病院も上昇気流に乗りたいと願っております。そのために我々がしなければならない事はやはり医療の原点に戻って、献身的に患者様につくし患者様に満足して頂けるようにする事です。神戸海星病院の理念であります“愛と奉仕”の精神で全職員一丸となって、患者様が安心して医療を受けられる病院になるよう努力する所存で御座います。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが本年が皆様にとって最良の年になりますように心からお祈り申し上げます。

～看護部より～

新年あけましておめでとうございます。

看護部では、病院の理念『愛と奉仕』を受け、『患者参加の看護』、『専門性』、『国際性』を看護部の理念とし、患者様やご家族の尊厳を大切に、看護を実践して参りました。

平成24年は辰年です。看護部も上昇気流に乗り、ますます専門性の充実を図り、チーム医療を盛り立てていきたいと思っております。



☆☆☆キャンドルサービス☆☆☆



12月に入ると、街中が輝かしいイルミネーションやクリスマスソングに包まれていきますが、神戸海星病院もまた、外来エントランスや各病棟にクリスマスツリーが設置され、院内にリースやサンタの飾りつけがされるなど、クリスマスらしい雰囲気になっていきます。そんな中、昨年12月22日に、神戸海星病院伝統のクリスマスキャンドルサービスを行いました。



神父さまのお話

当院は元々成り立ちが万国病院という、神戸在住の外国人により設立された病院でありますので、数ある院内のイベントの中でも、クリスマスのイベントは特に盛大に行われます。今年度は神戸海星病院創立140年でもあるため、院内には昨年度より一層多くの海星病院の歴史を語るパネル写真も展示されており、病院の歴史の節目となるキャンドルサービスとなりました。

金曜日の夕方日が沈む頃、六甲教会のオマリー神父のもとに、エントランスホールには啓明学院・六甲教会の聖歌隊の皆様、21名のかわいい天使達(職員のお子様)が集まり、キャンドルサービスが始まりました。共同祈願とオマリー神父のお話の

後、天使・聖歌隊、その他の皆様の手元のろうそくに聖火をともし、きよしこの夜を歌いながら病棟をまわり、入院患者様には天使からプレゼントが手渡されました。天使達がプレゼントを持って病室を訪れると、どの患者様もにっこりとされ、心穏やかな表情を浮かべられました。このような季節感のあるイベント・患者様への癒しの提供の重要性をあらためて実感する一日となりました。



病棟を訪れた天使のみなさん



編集後記

1月は誘惑が多く、ついつい太り気味です。寒いので外に出て身体を動かすのはイヤ・・・、美味しいものを我慢するのもイヤ・・・、春になったら頑張ろう!と。
(西山)

海星病院ニュースは、創刊から8年半が経過し、重ねてきた号数も今回で89になります。もうすぐ100号! これからも旬の情報を発信できるよう、一層気を引き締めていく所存です。本年もよろしく願い申し上げます。
(マルモリ)

神戸海星病院ニュース 1月号 2012年 1月 1日 発行

医療法人財団 神戸海星病院

〒657-0068 神戸市灘区篠原北町3-11-15 <http://www.kobe-kaisei.org/>

TEL 078 (871) 5201(代表) 責任者 辻本 武志 編集責任者 森元 秀敏